

平成24年度

当初予算のあらまし (一般会計)

目 次

1	予算の編成方針	1
2	予算の概要	1
3	予算の規模	2
4	歳入の状況	3
	(1) 概 要	3
	(2) 市 税	5
	(3) 地方交付税	7
	(4) 国・県支出金	9
	(5) 繰入金	10
	(6) 市 債	12
5	歳出の状況	15
	(1) 概 要	15
	(2) 人件費	17
	(3) 公債費	18
	(4) 普通建設事業	19
	(5) 重点事業	20

二 戸 市

1 予算の編成方針

平成24年度予算は、「二戸市総合計画後期基本計画」に基づいた施策を着実に推進する予算として編成しています。

- 大規模事業である福岡中学校の建設に着手するなど、後期基本計画を推進する予算として編成することとしています。しかしながら、一方では、既に確定済みの事業費が大きくなっている状況であり、既存事業も含めて財源の確保が課題となっていたことから、次の編成方針に基づき予算を編成しています。
 - ◇ 重点施策は、二戸市総合計画に定める4つのまちづくりの基本方向の実現を目指すための施策とする。
 - ◇ 市債の発行については、プライマリーバランスを考慮して、総額で18億円の範囲で収まるよう、必要最小限の発行に努める。
 - ◇ 限られた財源の中で総合計画後期基本計画の実現に向けた事業を実施するため、投資的事業については、総合計画実施計画の調整済事業費の範囲内で要求することとする。

2 予算の概要

一般会計の総額は、157億3,200万円で合併以降最大の予算規模となっています。

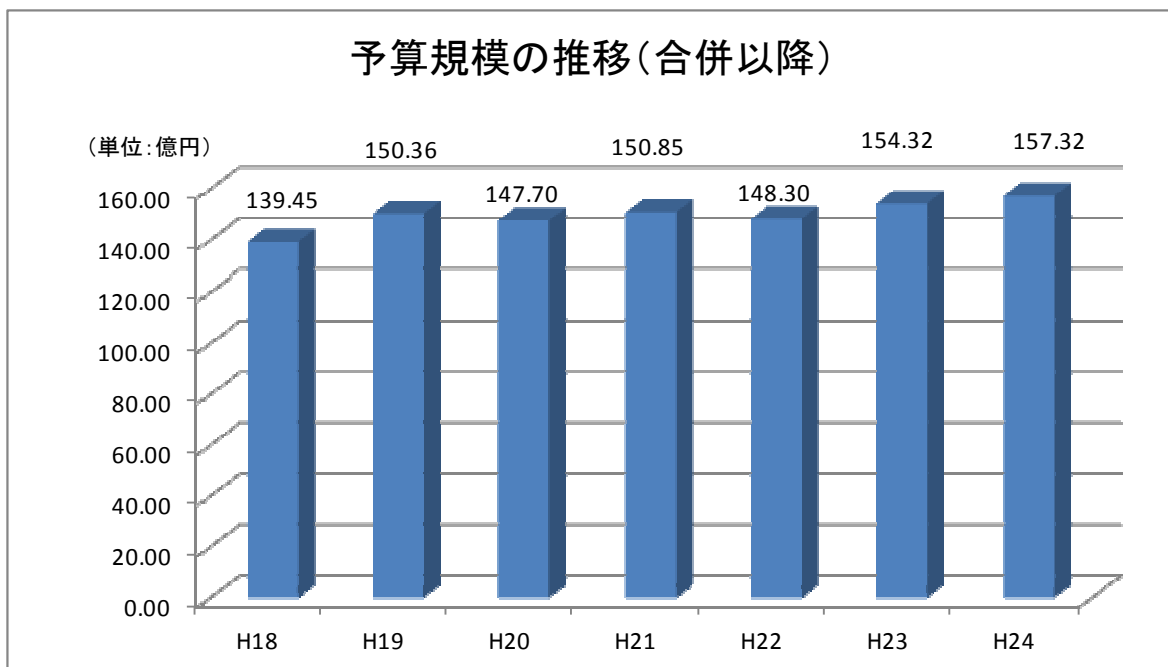
- 後期基本計画に基づき産業振興や雇用対策、市民の安全・安心、市民協働など新規に20事業を創設、6事業を拡大し、事業展開を図ることとしています。

特に、今年度から3年間の継続事業として、福岡中学校の建設に着手することから予算規模が大きくなっています。
- 一方で、財政の健全化に向けた取り組みとして、大型事業に着手している中ではありますが、プライマリーバランスは98.5%、2,885万円の黒字とし、将来負担の軽減に向けて努力しています。

3 予算の規模

福岡中学校整備事業に着手することなどから、合併以降最大規模の予算額となっています。

- 平成24年度当初予算は、福岡中学校整備事業などの大規模事業に着手するほか、社会保障費の増加、天台の湯周辺の整備に伴うパークゴルフ場整備事業の実施などにより、合併以降で最大の予算規模になっています。



予算規模の推移

(単位：億円、%)

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
予算額	139.45	150.36	147.70	150.85	148.30	154.32	157.32
前年度差額	—	10.91	△2.66	3.15	△2.55	6.02	3.00
前年比	—	7.82	△1.77	2.13	△1.69	4.06	1.94

4 歳入の状況

(1) 概要

歳入は、市税、国・県支出金が減少し、基金繰入金、市債が増えています。

○ 自主財源

歳入の自主財源を見ると、市税は、固定資産税の評価替えに伴う家屋評価額の減や、長引く景気低迷の影響などにより6,944万円の減収が見込まれます。一方、基金からの繰入金は増加しており、自主財源全体で44億1,302万円、自主財源比率は、28.1%となっています。

○ 依存財源

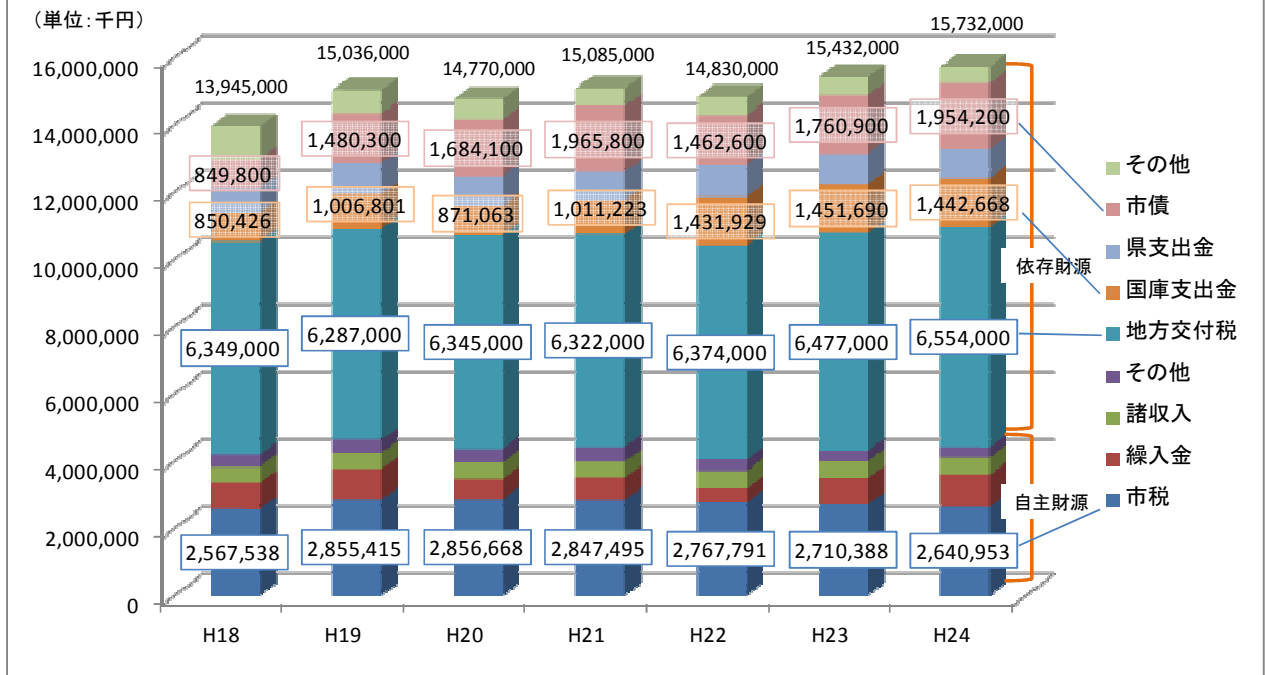
依存財源では、国・県支出金があわせて3,351万円減少しているものの、地方交付税が7,700万円、市債が1億9,330万円増加しており、依存財源全体では、113億1,898万円、依存財源比率は、71.9%となっています。

歳入の内訳

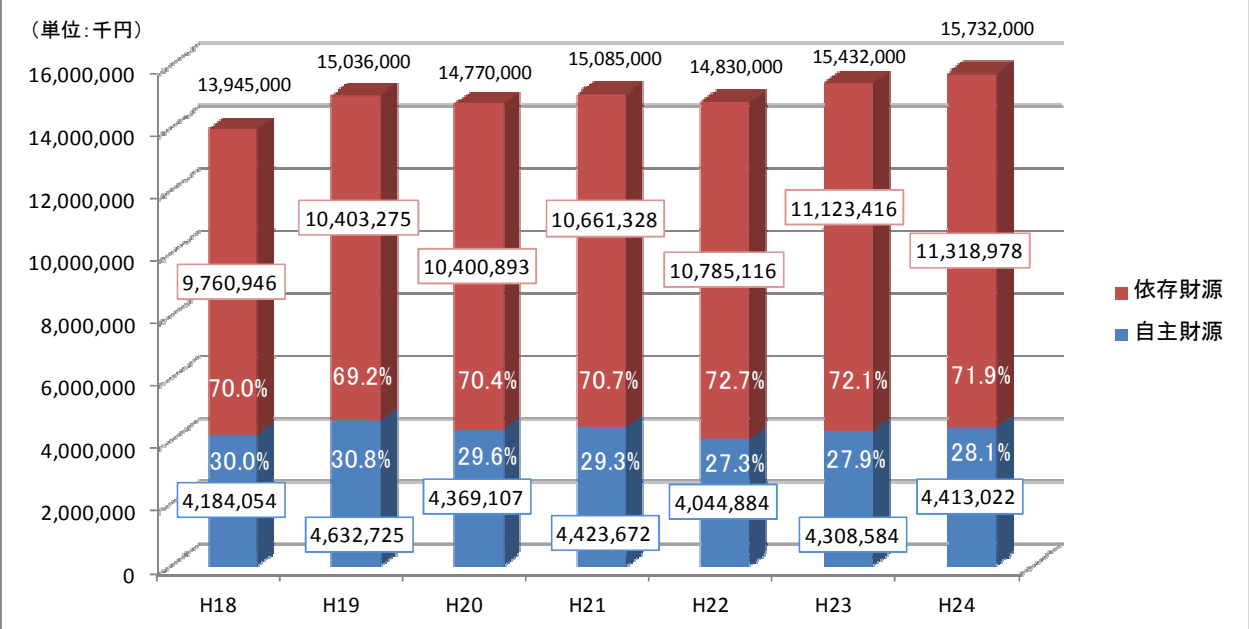
(単位：千円、%)

区 分		当初予算額	構成比	増減額 (前年比)	増減率	備 考
自主財源	市 税	2,640,953	16.8	△69,435	△2.6	
	繰 入 金	953,149	6.0	176,563	22.7	
	諸 収 入	514,353	3.3	3,056	0.6	
	そ の 他	304,567	2.0	△5,746	△1.9	使用料手数料他
	小 計	4,413,022	28.1	104,438	2.4	
依存財源	地方交付税	6,554,000	41.7	77,000	1.2	
	国庫支出金	1,442,668	9.2	△9,022	△0.6	
	県支出金	869,610	5.5	△24,486	△2.7	
	市 債	1,954,200	12.4	193,300	11.0	
	そ の 他	498,500	3.1	△41,230	△7.6	地方譲与税他
	小 計	11,318,978	71.9	195,562	1.8	
合 計		15,732,000	100.0	300,000	1.9	

主な歳入の推移



財源別歳入の推移



(2) 市 税

市税収入は、26億4,095万円となる見通しです。
前年度当初予算と比較して6,944万円、2.6%の減となります。

- 個人市民税
長引く景気の低迷などの影響により、前年度当初予算と比較して、1,232万円、1.6%の減となる見通しです。
- 法人市民税
東日本大震災の影響による経済活動の停滞などの影響により、前年度当初予算と比較して、440万円、3.4%の減となる見通しです。
- 固定資産税
評価替えに伴う家屋評価額の減や、土地価格の下落などにより、前年度当初予算と比較して、6,967万円、4.5%の減となる見通しです。
- 市たばこ税
売上本数は減少傾向にありますが、平成22年の税率引き上げの影響などにより、1,696万円、10.4%の増となる見通しです。

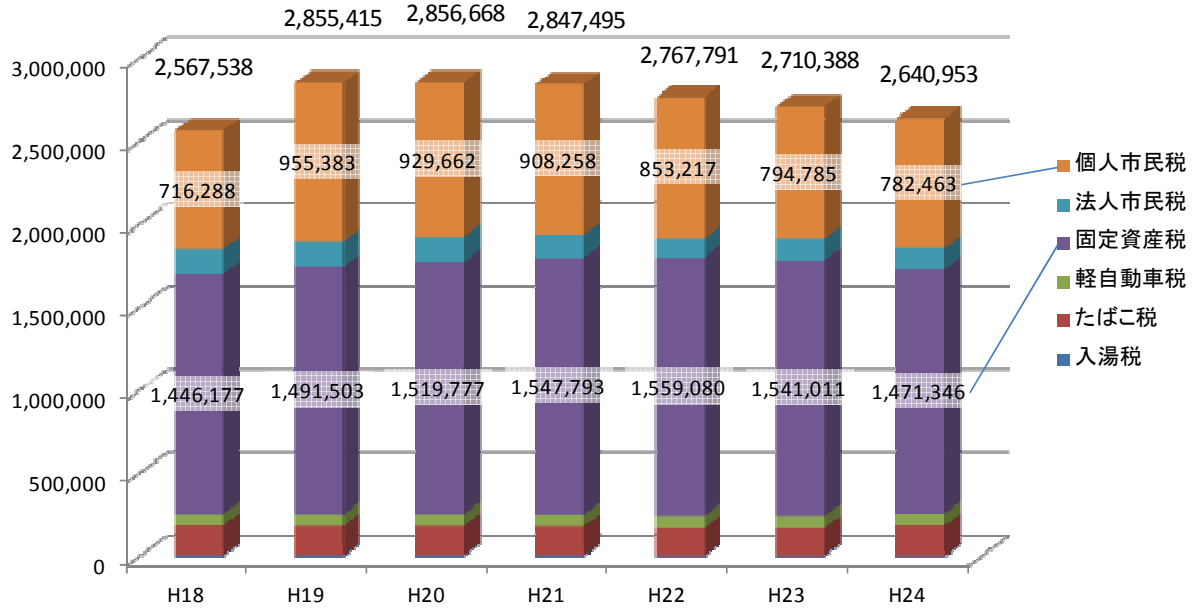
市税の収入見込額

(単位：千円、%)

税 目	平成24年度 当初予算額	平成23年度 当初予算額	増減額	増減率
個人市民税	782,463	794,785	△12,322	△1.6
法人市民税	126,663	131,064	△4,401	△3.4
固定資産税	1,471,346	1,541,011	△69,665	△4.5
軽自動車税	73,976	73,954	22	0.0
市たばこ税	180,131	163,170	16,961	10.4
入 湯 税	6,374	6,404	△30	△0.5
合 計	2,640,953	2,710,388	△69,435	△2.6

市税の推移

(単位:千円)



(3) 地方交付税

地方交付税は、65億5,400万円で、歳入全体の41.7%を占めています。

前年度当初予算と比較して7,700万円、1.2%の増となる見通しです。

○ 地方交付税

普通交付税は、59億5,400万円で、前年度当初予算と比較して、2,700万円、0.5%の増となる見通しです。

特別交付税は、6億円で、前年度当初予算と比較して、5,000万円、9.1%の増となる見通しです。

○ 実質的な地方交付税（地方交付税＋臨時財政対策債）

地方交付税に、臨時財政対策債を加えた実質的な交付税の額は、71億400万円で、前年度当初予算と比較して、2,700万円、0.4%の増となる見通しです。

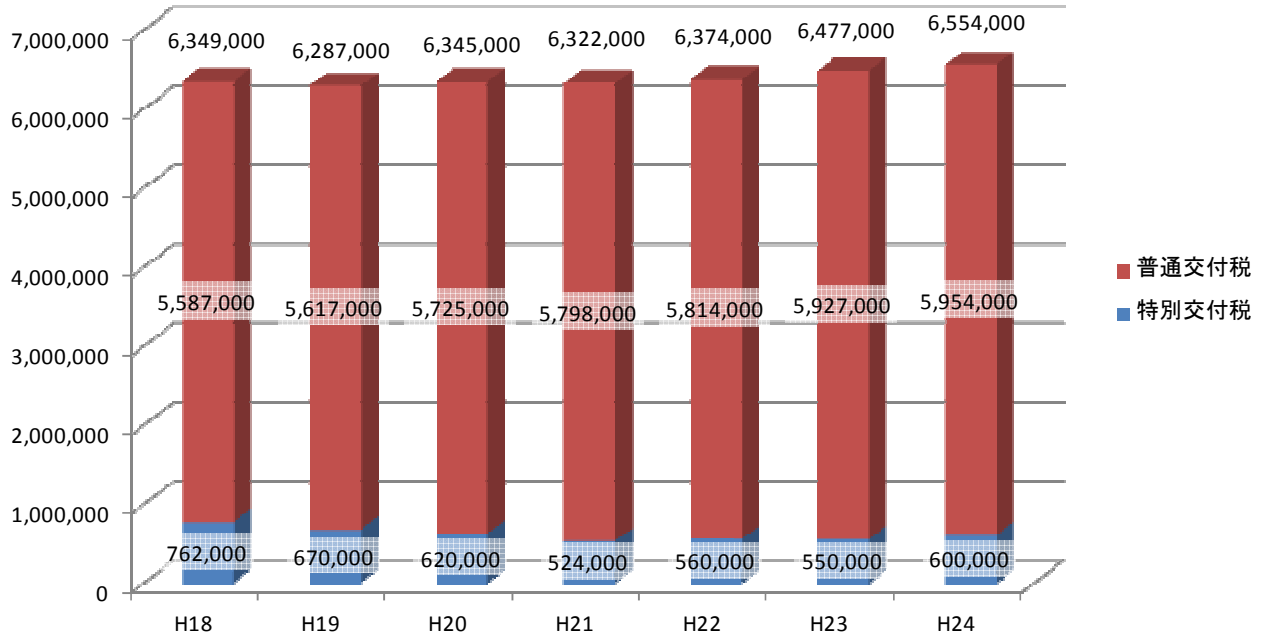
地方交付税予算額

(単位：千円、%)

税目	平成24年度 当初予算額	平成23年度 当初予算額	増減額	増減率
普通交付税	5,954,000	5,927,000	27,000	0.5
特別交付税	600,000	550,000	50,000	9.1
地方交付税総額	6,554,000	6,477,000	77,000	1.2
臨時財政対策債	550,000	600,000	△50,000	△8.3
合計	7,104,000	7,077,000	27,000	0.4

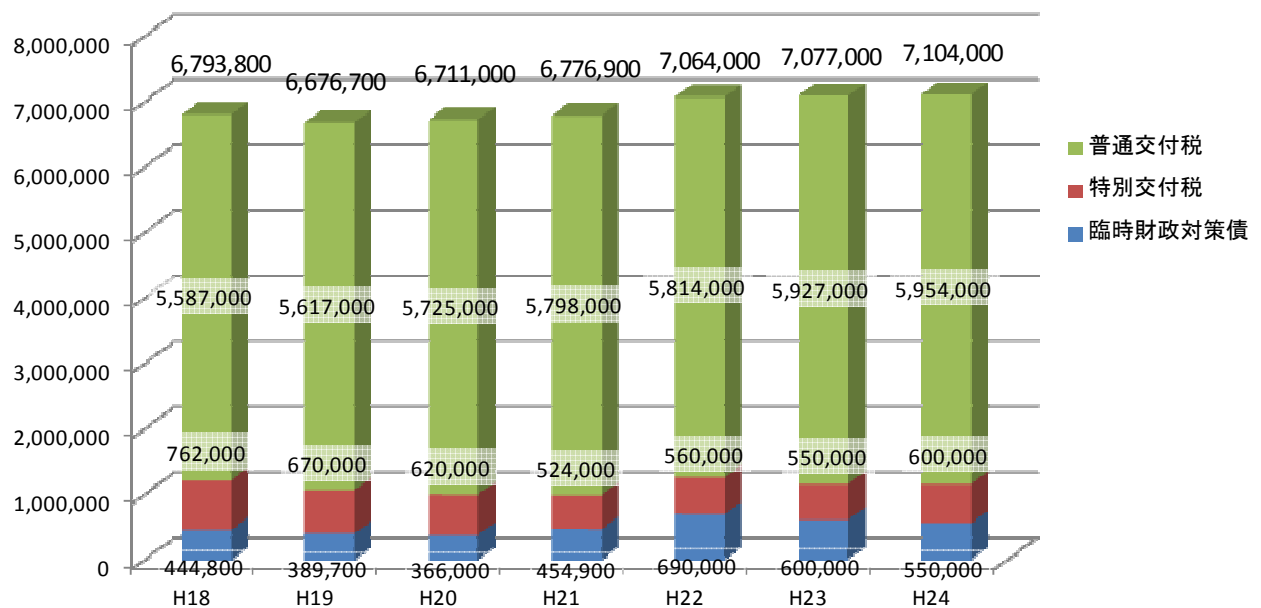
地方交付税の推移

(単位: 千円)



地方交付税の推移(臨時財政対策債含み)

(単位: 千円)



(4) 国・県支出金

国・県支出金は、子どものための手当給付などの影響により減少しています。前年度当初予算と比較して3,351万円、1.4%の減となる見通しです。

○ 国庫支出金

社会保障費の伸びに伴う国庫負担金や福岡中学校整備への国庫補助金などが増加していますが、子どものための手当給付に対する国庫負担金が減少したため、総額で14億4,267万円、前年度当初予算と比較して、902万円、0.6%の減となっています。

○ 県支出金

県の基金を活用したふるさと雇用再生特別対策事業の終了などにより、総額で8億6,961万円、前年度当初予算と比較して、2,449万円、2.7%の減となっています。

国・県支出金予算額

(単位：千円、%)

税 目	平成24年度 当初予算額	平成23年度 当初予算額	増減額	増減率
国庫支出金	1,442,668	1,451,690	△9,022	△0.6
県支出金	869,610	894,096	△24,486	△2.7
合 計	2,312,278	2,345,786	△33,508	△1.4

(5) 繰入金

基金繰入金は、財源不足額を補てんしたことなどにより増加しています。前年度当初予算と比較して1億7,656万円、22.7%の増となる見通しです。

○ 財政調整基金

国営かんがい排水事業の一括繰上償還などにより、一般財源の不足額が多くなったことから、総額で3億8,330万円、前年度当初予算と比較して、9,101万円、31.1%の増となっています。

○ 減債基金

市債の償還に充てるため、総額で4億円、前年度当初予算と比較して、1億円、33.3%の増となっています。

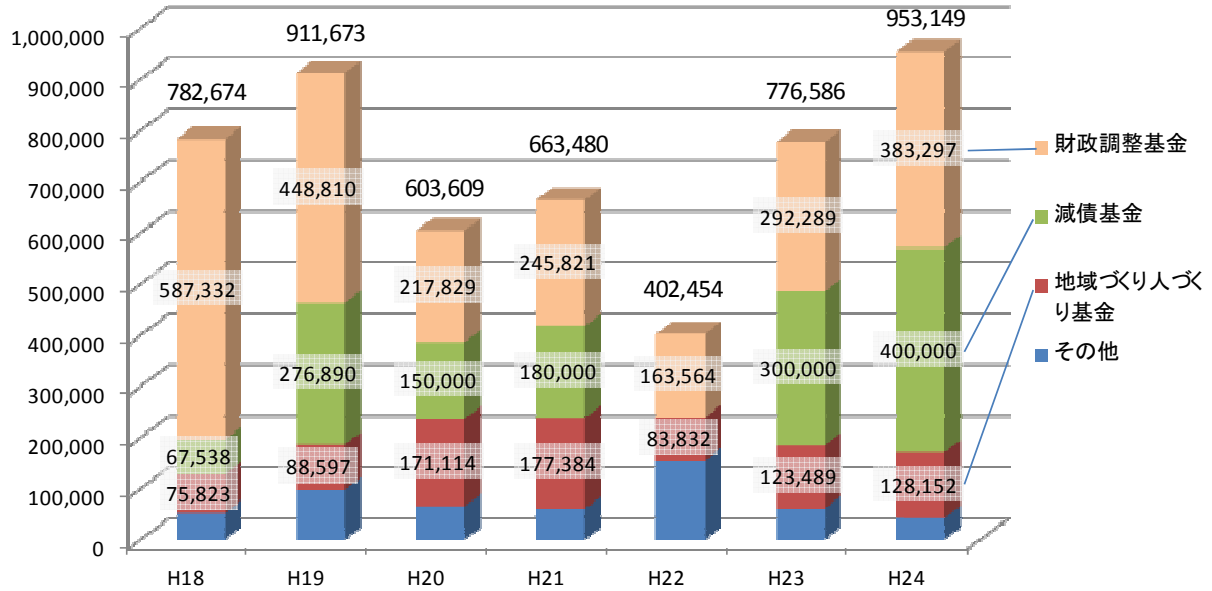
基金繰入額・残高の状況

(単位：千円、%)

基金名	平成24年度 当初予算繰入額	平成23年度 当初予算繰入額	増減額	増減率	平成24年度当初予算 基金残高見込額
財政調整基金	383,297	292,289	91,008	31.1	625,496
減債基金	400,000	300,000	100,000	33.3	575,143
地域づくり人づくり基金	128,152	123,489	4,663	3.8	1,029,922
福祉対策基金	16,302	21,979	△5,677	△25.8	122,500
ふるさと二戸水と土保全基金	3,000	3,000	0	0.0	5,437
畜産総合対策基金	6,000	6,000	0	0.0	10,448
市有林造成基金	16,231	24,637	△8,406	△34.1	46,112
学校施設設備基金	167	5,192	△5,025	△96.8	160,622
電源立地地域対策基金	0	0	0	—	8,801
教育文化施設建設基金	0	0	0	—	4
育英基金	0	0	0	—	2,320
合計	953,149	776,586	176,563	22.7	2,586,805

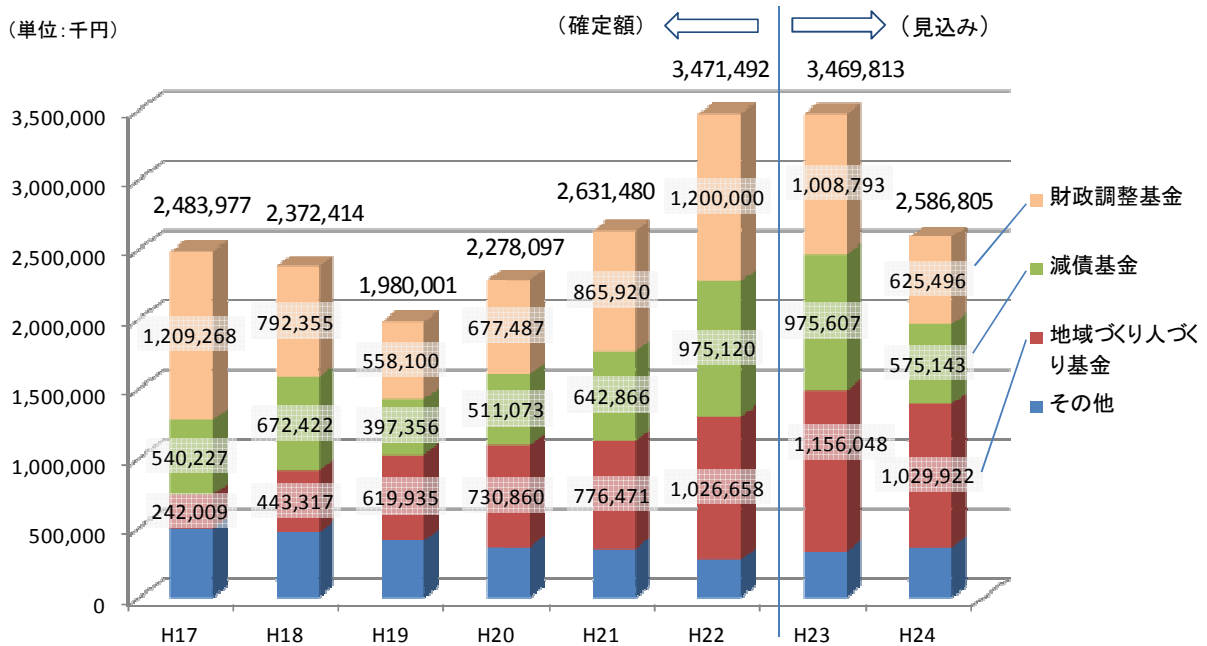
基金繰入金の推移(当初予算ベース)

(単位:千円)



基金残高の推移

(単位:千円)



(6) 市 債

市債発行額は、19億5,420万円で、前年度当初予算と比較して1億9,330万円、11.0%の増となる見通しです。

○ 事業の執行に係る市債

事業の執行に係る市債の発行額は、福岡中学校整備事業や国営かんがい排水事業償還金などにより、総額で14億420万円、前年度当初予算と比較して、2億4,330万円、21.0%の増となっています。

○ 臨時財政対策債

地方交付税の財源不足を補うため市が発行する臨時財政対策債は、発行額で5億5,000万円、前年度当初予算と比較して、5,000万円、8.3%の減となっています。

○ 市債残高の減少

市債償還元金の19億8,305万円より、市債発行額を少なく編成したため、市債残高は2,885万円減少する見込みです。

市債発行額（種類別）

（単位：千円、%）

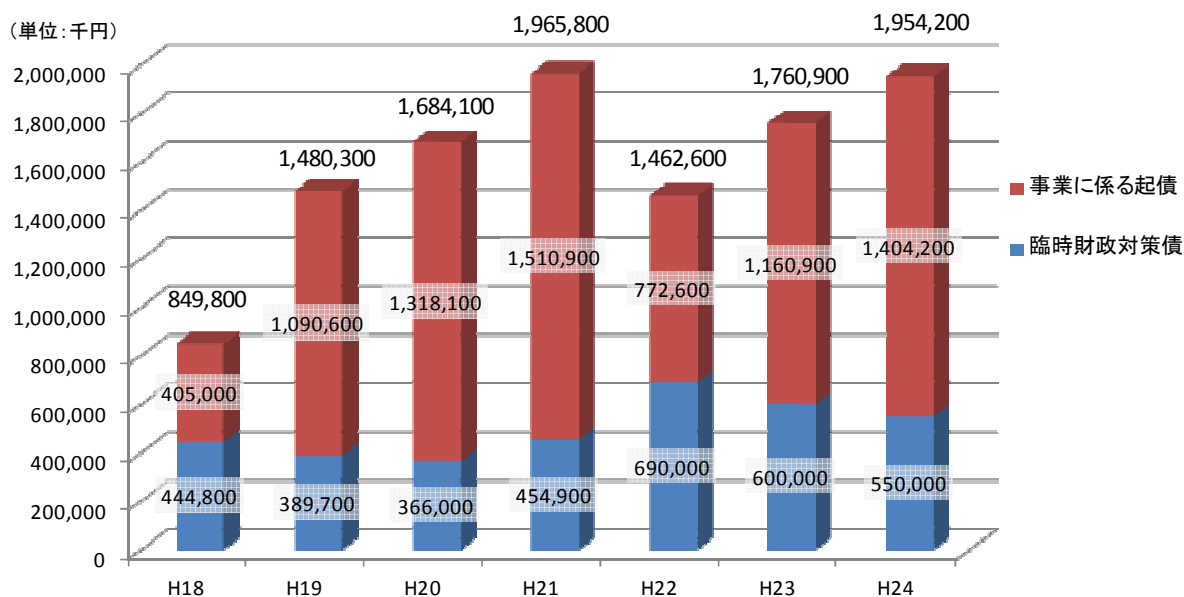
区 分		平成24年度 当初予算額	平成23年度 当初予算額	増減額	増減率
事業の 執行に 係る 市債	合併特例債	1,143,300	914,600	228,700	25.0
	過疎債	131,000	164,900	△33,900	△20.6
	辺地債	22,700	48,900	△26,200	△53.6
	自治振興基金	22,000	16,500	5,500	33.3
	公共事業等債	35,600	13,500	22,100	163.7
	公営住宅事業債	26,700	2,500	24,200	968.0
	地域活性化事業債	12,600	0	12,600	皆増
	水道事業債	10,300	0	10,300	皆増
計	1,404,200	1,160,900	243,300	21.0	
臨時財政対策債	550,000	600,000	△50,000	△8.3	
合 計	1,954,200	1,760,900	193,300	11.0	

市債発行額（目的別）

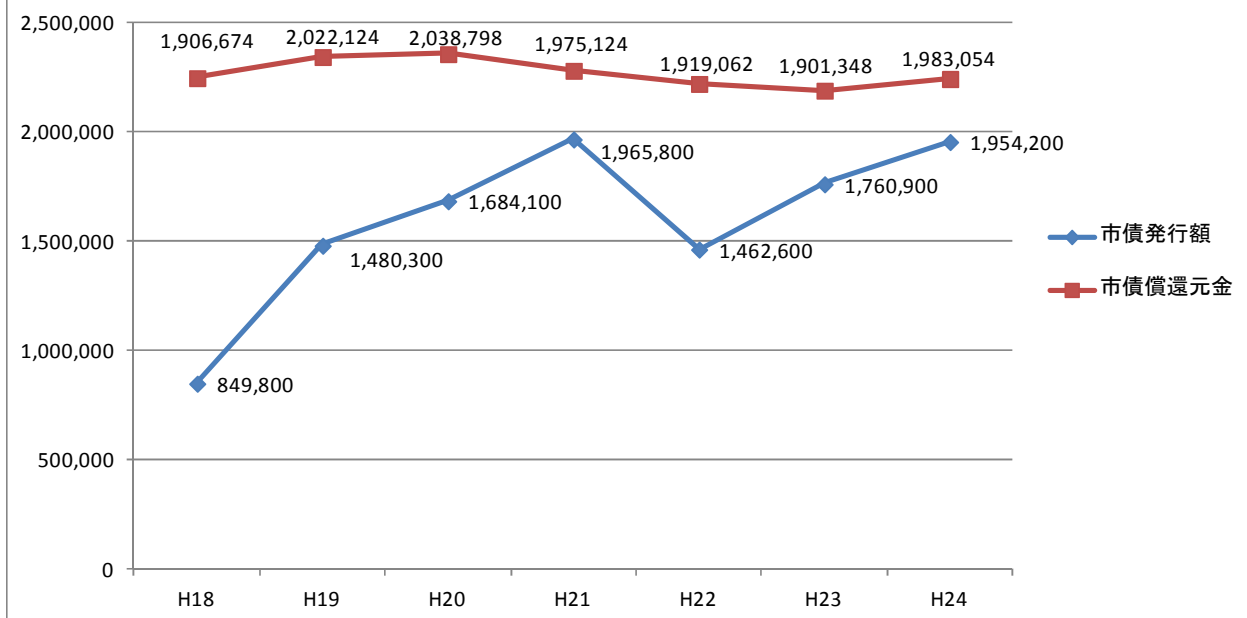
（単位：千円、％）

区 分		平成24年度 当初予算額	平成23年度 当初予算額	増減額	増減率
事業の執行に係る市債	総務債	17,100	353,200	△336,100	△95.2
	民生債	5,600	24,300	△18,700	△77.0
	衛生債	10,300	0	10,300	皆増
	農林債	286,800	304,100	△17,300	△5.7
	観光債	82,600	0	82,600	皆増
	土木債	75,900	146,300	△70,400	△48.1
	都市計画債	2,100	14,900	△12,800	△85.9
	公営住宅債	26,700	5,600	21,100	376.8
	消防債	4,200	32,300	△28,100	△87.0
	教育債	892,900	280,200	612,700	218.7
計	1,404,200	1,160,900	243,300	21.0	
臨時財政対策債		550,000	600,000	△50,000	△8.3
合 計		1,954,200	1,760,900	193,300	11.0

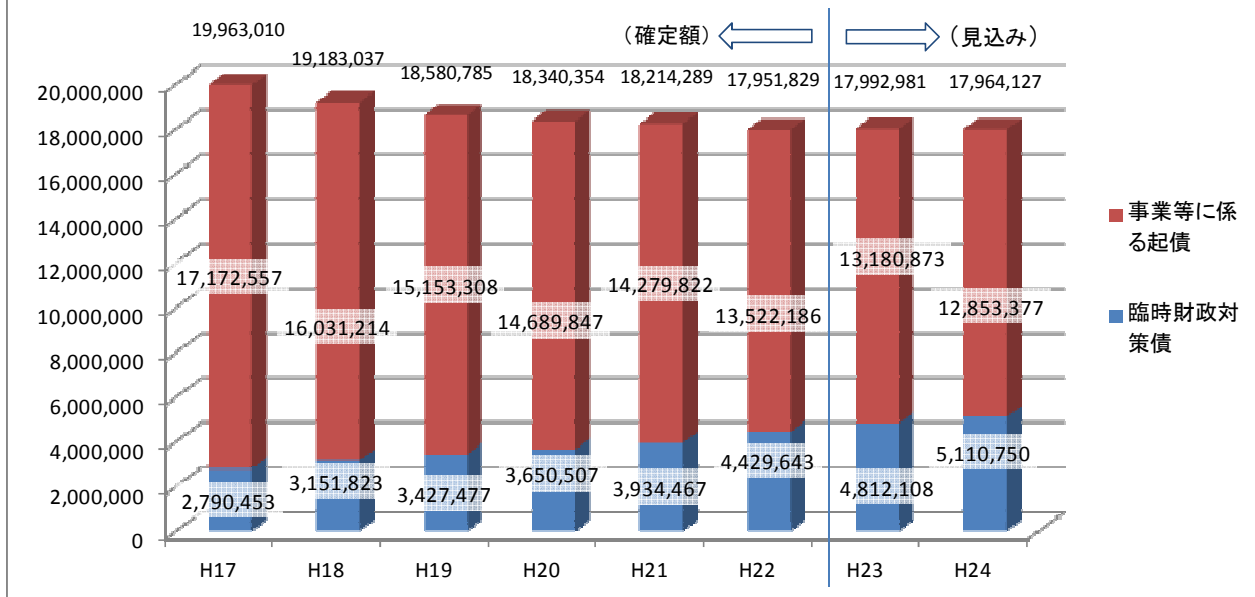
市債発行額の推移



市債発行額・償還元金の推移(当初予算ベース)



市債残高の推移



5 歳出の状況

(1) 概要

義務的経費が増加し、歳出総額の47.4%を占めています。
投資的経費は11.3%で、前年度より大幅に増加しています。

○ 義務的経費

人件費、扶助費、公債費をあわせた義務的経費は、74億6,382万円で、前年度当初予算と比較して8,687万円、1.2%の増となっています。

◇人件費

任期付職員の採用などにより、前年度当初予算と比較して、3,290万円増加しています。

◇扶助費

生活保護費や障害者自立支援給付費が増加していますが、子どものための手当給付に伴う支給額の減少があるため、前年度当初予算とほぼ同額となっています。

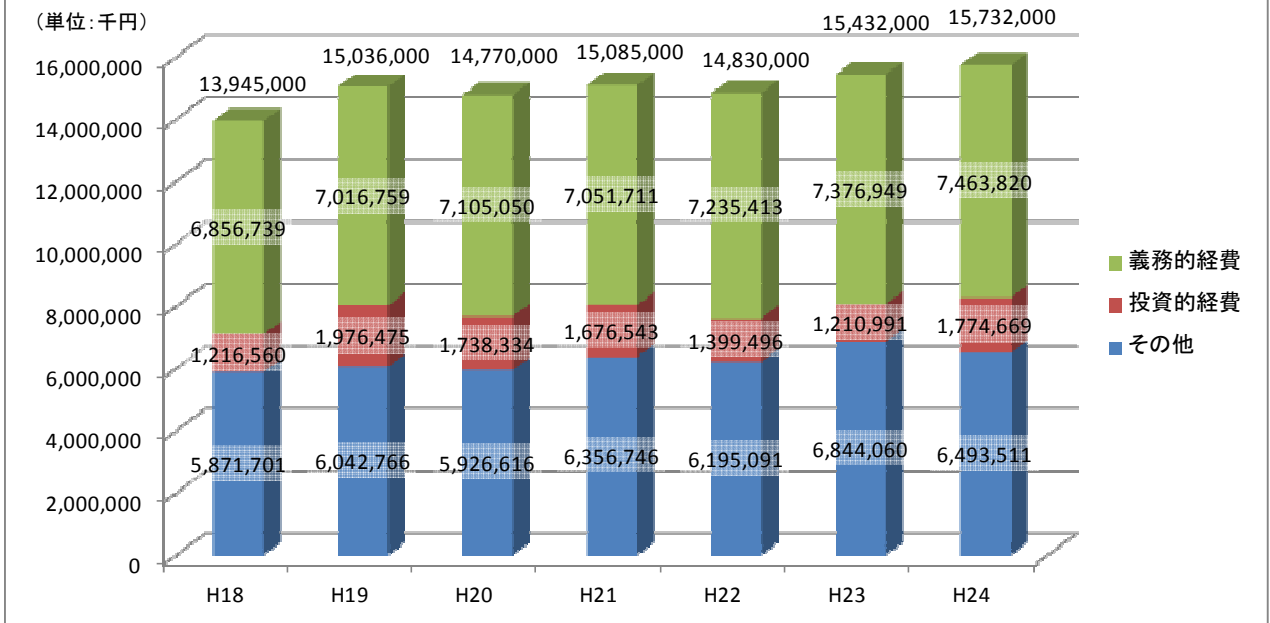
◇公債費

新幹線二戸駅開業関連事業に伴う市債償還額がピークを迎えているため、前年度当初予算と比較して、5,360万円増加しています。

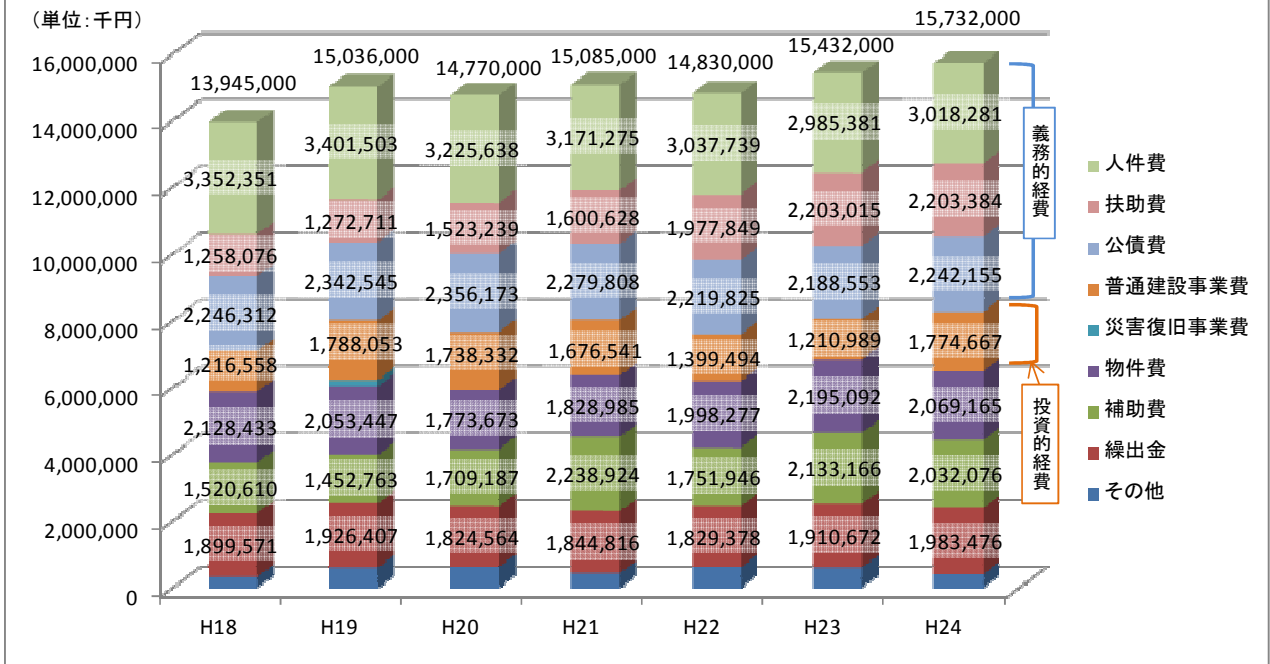
○ 投資的経費

普通建設事業と災害復旧費をあわせた投資的経費は、福岡中学校整備事業の実施などに伴い17億7,467万円で、前年度当初予算と比較して、5億6,368万円、46.5%の増となっています。

歳出の経費別推移



主な歳出の推移(性質別)



(2) 人件費

人件費の総額は、任期付職員の採用などに伴い、増加しています。
正職員に係る人件費は、職員数の適正化などにより、減少しています。

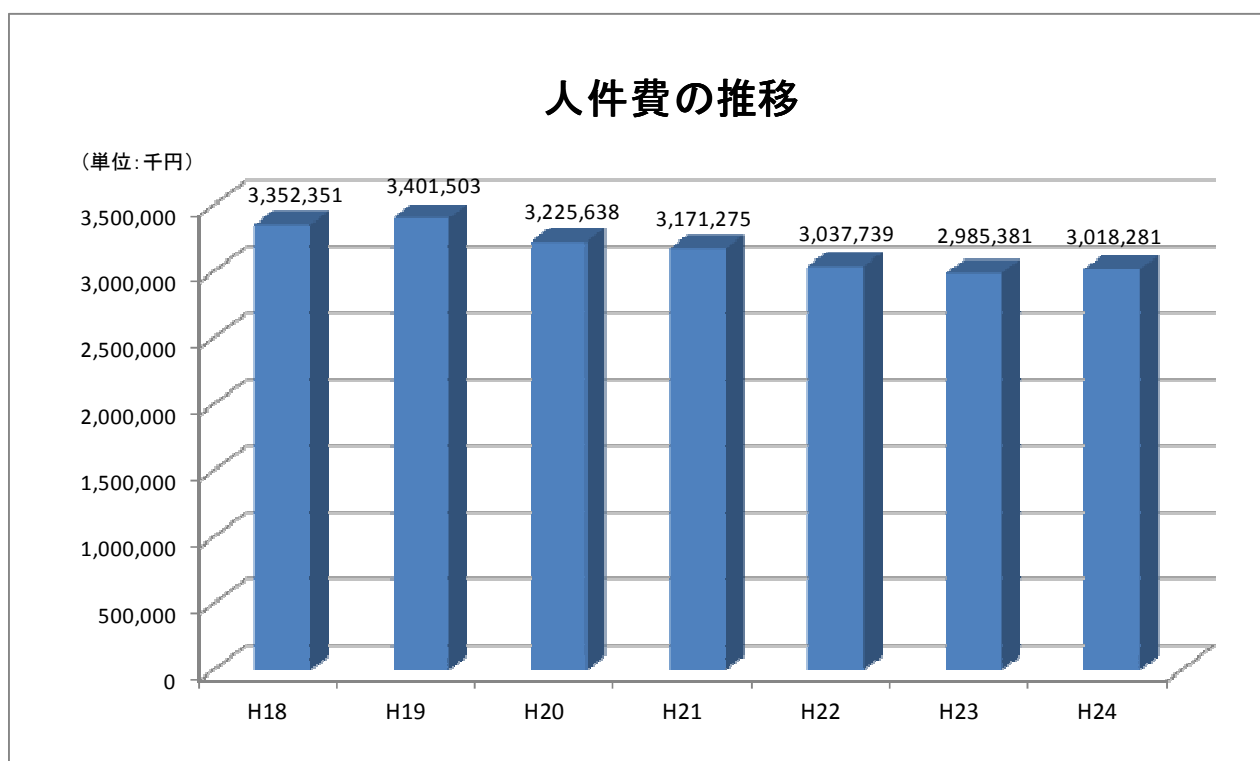
○ 人件費総額

人件費総額は、30億1,828万円で、前年度当初予算と比較して3,290万円、1.1%の増となっています。

これは、保育所などで、平成24年度から任期付職員の採用を行うことにより増加するものです。

○ 職員人件費

正職員に係る人件費は、職員適正化計画に基づく職員数の削減などにより、減少しています。



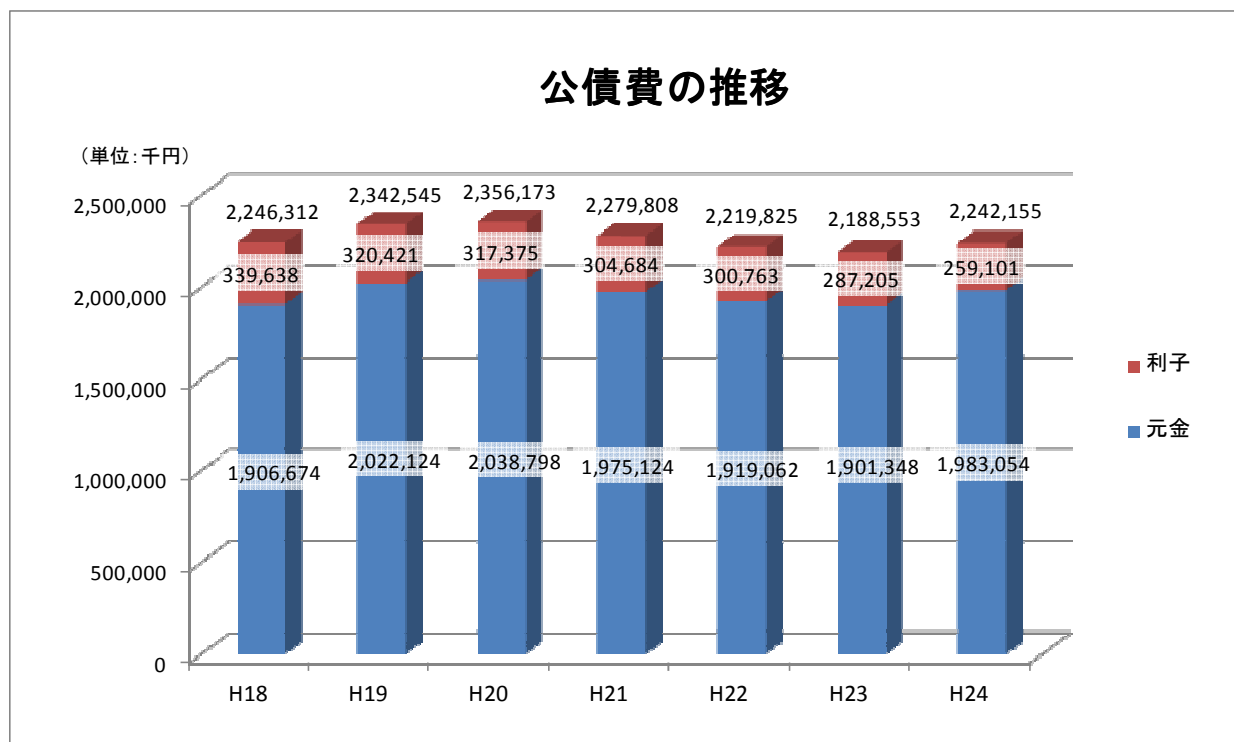
(3) 公債費

市債の償還金である公債費は、東北新幹線二戸駅開業関連事業の償還額がピークを迎えていることなどにより、増加しています。

○ 公債費

公債費は、22億4,216万円で、前年度当初予算と比較して5,352万円、2.4%の増となっています。

平成24年度は、新幹線関連事業の償還額がピークを迎えているため、増加していますが、今後は少しずつ減少していく見込みです。



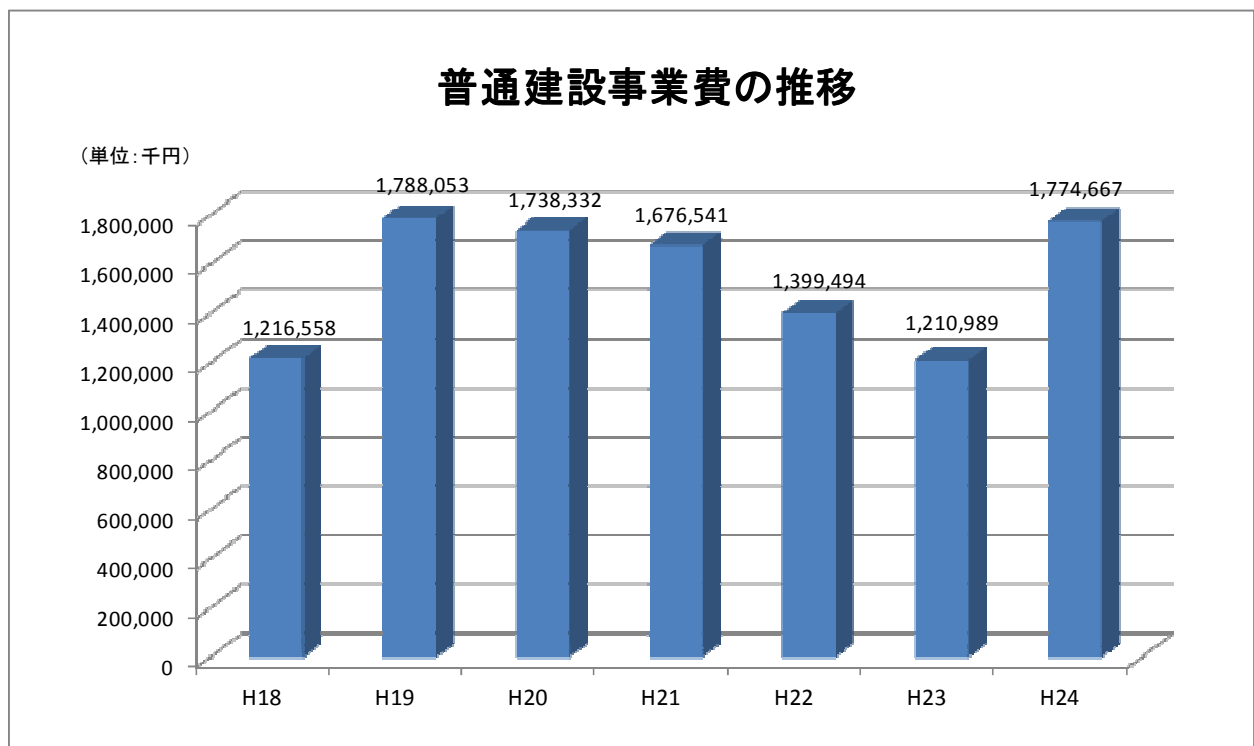
(4) 普通建設事業費

福岡中学校整備事業、パークゴルフ場整備事業などの大規模事業に着手していることから、増加しています。

○ 普通建設事業

普通建設事業費は、17億7,467万円で、前年度当初予算と比較して5億6,368万円、46.5%の大幅増となっています。

主な事業は、福岡中学校整備事業11億90万円、パークゴルフ場整備事業8,639万円、横手第二住宅改修事業4,860万円、図書館外壁等改修事業1,400万円などです。



(5) 重点事業

平成24年度当初予算では、後期基本計画に基づき産業振興や雇用対策、市民の安全・安心、市民協働など新規に20事業を創設、6事業を拡大し、事業展開を図ることとしています。

1 産業活動が活発なまちづくり

地域の特色ある資源を活かした、農業・商業・工業・観光業が連携した地域産業全体の活性化と雇用の創出を図ります。

【雇用対策の推進】

1 緊急雇用創出事業【153.2百万円／企業・雇用推進室】

失業者等の雇用対策として、臨時的な雇用・就業機会を創出・提供するとともに、人材育成による安定的な雇用を創出（新規雇用91人）

【商業の振興】

2 住宅リフォーム支援事業助成費【10.0百万円／商工観光課】

地域経済の活性化並びに市民の住環境の整備を促進するため、市内施工業者による住宅リフォームを行う市民に対して、経費の一部を商品券で助成

3 への産業チャレンジ支援事業費補助金【10.0百万円／商工観光課】

新たな視点から事業を創り出し、産業の活性化、人材育成等に取り組む事業者を支援

4 うるしの里づくり関連事業【3.7百万円／うるし振興室】（拡充）

うるしうるわし支援事業【2.0百万円】

飲食店、宿泊施設に対して、建築資材等への漆塗り費用を助成

うるしはじめ事業【1.7百万円】

子どもが生まれた家庭に漆器を貸し出し、「お食い初め」をきっかけに「漆」に親しむ環境を整備

5 特産品ブランド化推進事業費補助金【2.9百万円／企業・雇用推進室】（新規）

特産品の販売拡大、特色ある地域資源を活用した人材・素材の連携による商品作りを支援

6 商業活性化補助金【2.0 百万円／商工観光課】

低迷する市内商業者への景気対策として、商工会が実施する消費拡大セールを支援

【地域資源を活かした観光の推進】

7 パークゴルフ場整備事業【86.4 百万円／産業建設課】

天台の湯周辺の環境整備に伴うパークゴルフ場整備。平成 24 年度はパークゴルフ場整備及び管理棟建設工事を実施

8 座敷わらしの里推進事業補助金【1.1 百万円／観光物産交流室】（新規）

座敷わらしを軸として温泉地域の活性化に取り組む金田一温泉旅館組合を支援。旅館に宿泊されたお子様への貸し出し用かすりの着物、ゆるキャラの着ぐるみを作成

9 いわてデスティネーションキャンペーン食のイベント開催補助金

【0.7 百万円／観光物産交流室】（新規）

観光キャンペーン開催期間に合わせて、実行委員会を立ち上げ開催する二戸の食をテーマとしたイベントを支援

10 東北観光博二戸・久慈ゾーン運営事業委託料【0.4 百万円／観光物産交流室】

（新規）

観光情報の提供拠点として「旅のサロン」を設置。情報に精通した「地域観光案内人」が観光情報や特産品を案内し、地域の魅力を発信

【農業の振興】

11 国営かんがい排水事業【382.2 百万円／農林課】

農業生産性の向上と農業経営の安定を図るため、国営事業により整備した大志田ダム等建設費用の地元負担金（第 2 期指定工事外分）を一括繰上償還。国営事業の償還は平成 24 年度で終了

12 いわて未来農業確立総合支援事業費補助金【49.2 百万円／農林課】

認定農業者・青年農業者、集落営農組織の経営基盤の強化を図るため施設等の整備を支援

13 県営担い手育成畑地帯総合整備事業負担金（男神・米沢・湯田地区）

【40.0 百万円／農林課】

国営かんがい排水事業の関連事業で、畑地までの配管工事及び付随する農道を整備。県営事業費の 2 割を負担

14 農地整備事業（川又地区）【15.8 百万円／産業建設課】（新規）

浄法寺川又地区の農地整備を行う県営事業。平成 24 年度は実施設計、換地業務を実施

15 葉たばこ地力活性化推進事業費補助金【13.5 百万円／農林課】（新規）

良質な有機完熟堆肥を葉たばこ圃地に投入することにより、収量の増及び土壌本来の地力の増進向上

16 特別栽培農産物促進費補助金【3.2 百万円／農林課】

農薬の使用回数や化学肥料の窒素施肥量を減らす栽培方法の普及を図る。化学肥料の減分を堆肥投入により賄い、循環型農業の推進、将来的に有機栽培を促進

17 堆肥有効活用支援事業費補助金【0.3 百万円／農林課】（新規）

畜産農家が行う堆肥成分調査に対する費用を支援することで、耕種農家が作物に合った施肥設計を組むことにより、良質な作物生産に寄与

2 地域を担う人を育てるまちづくり

福岡中学校の整備、老朽施設の改修など、次代を担う子どもたちが安全で快適に学べる環境づくりを進めるとともに、国際的な視野を持ち、人間性豊かな児童生徒の育成を推進します。

【教育環境の整備】

18 福岡中学校建設事業【1,100.9 百万円／教育施設整備課】（拡充）

平成 24 年度に校舎棟、屋内運動場棟の建設工事に着手
[H24～H26 までの継続事業(継続費 総額 3,324 百万円)]

19 図書館外壁・屋根改修事業【14.0 百万円／図書館】（新規）

図書館の外壁・屋根改修工事を実施

- 20 金田一中学校バックネット改修事業【8.9百万円／教育施設整備課】（新規）
設備の老朽化に伴うバックネット改修事業

【地域を担う人材の育成】

- 21 中学生海外派遣研修協議会補助金【5.2百万円／教育企画課】（拡充）
国際理解教育の一環として、中学生の異文化交流事業、海外派遣研修事業を実施（田中館博士ゆかりの地、イギリス グラスゴー周辺を予定）
- 22 学力向上プロジェクト事業【2.4百万円／教育企画課】
基礎学力の定着と学習意欲の向上を図るための授業研究と教職員の授業力向上のための研修を実施
- 23 槻陰舎きぼう塾事業【1.1百万円／生涯学習課】
中学生の親子を対象に、二戸市の歴史や先人について学ぶ機会を提供するとともに、大学の講義体験や様々な仕事場の見学などを通して志の高い青少年を育成

3 安全で安心して暮らせるまちづくり

地域の防災活動の核となる自主防災組織の育成や、消防・防災装備の強化など住民と行政の協力による安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

【保健・福祉の充実】

- 24 在宅酸素療法者等非常用発電装置貸与事業【6.1百万円／福祉課】（新規）
在宅酸素療法酸素濃縮器・痰吸引器等を使用している在宅療養者に対して、災害等における停電時の緊急対応用発電機の貸し出しを実施（東日本大震災支援金等活用）
- 25 健康長寿からだづくり事業【1.0百万円／健康推進課】（新規）
転びにくい体づくりを進め、介護予防、元気高齢者の増加につなげるため、健康教室を開催

【防災体制の充実】

- 26 消防・防災用備品購入事業【3.9百万円／防災対策室】（拡充）
消防用として、火災現場や災害等で消防団員が使用できるレインウェア、銀長靴を購入するとともに、水害等に対応するための水中ポンプを購入（東日本大震災支援金等活用）

27 自主防災組織育成補助金【1.0百万円／防災対策室】（拡充）

災害時における地域住民による初期対応及び避難体制などの整備強化を図るため、自主防災組織の結成及び活動に要する経費を支援

4 生活環境が整備されたまちづくり

市民生活に密着した道路の整備を促進するとともに、生活環境の向上と災害を防止するため雨水排水計画を策定します。

【生活環境の整備】

28 公営住宅改修事業【48.6百万円／都市計画課】

横手第二住宅1号棟の外壁・屋根等改修工事を実施

29 市民協働道路整備事業【31.5百万円／建設課】

地域づくり計画に盛り込まれ、町内会等から整備要望が出された道路の整備を実施

30 雨水排水計画策定事業【10.0百万円／建設課】（新規）

大雨等による災害を防止するため、岩谷橋～川原橋間の雨水排水計画を策定

5 市民とともに歩むまちづくり

地域が主体的に取り組む地域づくり活動への支援により、自治組織の育成強化を図るとともに、地域の宝を活かした持続可能な地域づくりを推進します。また、様々な媒体による情報発信や職員研修による意識改革など市のイメージアップ活動を展開します。

【みんなが参加する地域づくりの推進】

31 まちづくり事業補助金【6.0百万円／地域振興課】

地域づくり計画に基づき町内会等が実施する事業への補助

32 シティセールス推進事業【2.8百万円／政策推進課】（拡充）

市のイメージアップ活動の展開と、ふるさと納税寄付者等に市の新たな応援隊となっていていただく取り組みを実施

【宝を生かした地域づくりの推進】

- 33 稲庭岳周辺地域生物調査事業【2.0百万円／政策推進課】（新規）
動植物の宝庫である稲庭岳周辺地域の保護・活用に取り組むための基礎資料とする調査を実施
- 34 田中館愛橋博士没後60年記念事業【1.5百万円／シビックセンター】（新規）
田中館博士没後60年。偉人を讃える記念事業として企画展、科学実験教室等を開催
- 35 福田繁雄追悼特別企画展事業【1.1百万円／シビックセンター】（新規）
県立美術館での大回顧展にあわせた追悼特別企画展を開催

【自治体との連携・交流の促進】

- 36 イチ、ニのサン元気な東北発信事業【0.5百万円／政策推進課】（新規）
一関市、二戸市、三沢市の三市が連携して、交流イベントなどの機会を活用し、東北地方の元気を内外に発信

6 スリムな行財政によるまちづくり

市民の視点に立った行財政運営の推進を目標に、市民の皆さんの満足度の向上に努めるとともに、より効率的・効果的なスリムな行財政によるまちづくりを推進します。

【スリムな行財政の推進】

- 37 体育施設指定管理委託料【60.9百万円／スポーツセンター】（新規）
市内体育施設の利用環境の向上及び効率的な維持管理を行うため、一般社団法人二戸市体育協会に管理を委託
- 38 金田一診療所窓口業務委託事業【6.8百万円／金田一診療所】（新規）
受付・会計等の効率化を図るため、窓口業務を外部の事業者へ委託
- 39 議会会議録検索システム導入事業【2.5百万円／議会事務局】（新規）
市ホームページ上で市議会会議録の検索・閲覧可能となる会議録検索システムを導入。市議会情報を広く一般の方々へ提供

40 住民情報システム収納・滞納科目導入事業【1.2百万円／情報管理室】（新規）

入湯税及び税外収入金の一部を住民情報システムに組み込み、収納及び滞納管理を一元化